

「外国語活動・外国語の5つの領域別の目標」の学校段階別一覧表

5つの領域別の目標			
	小学校第3学年及び第4学年 外国語活動	小学校第5学年及び第6学年 外国語	中学校 外国語
聞くこと	ア ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。 イ ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。 ウ 文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかが分かるようにする。	ア ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする。 イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。 ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。	ア はっきりと話されれば、日常的话题について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。 イ はっきりと話されれば、日常的话题について、話の概要を捉えることができるようにする。 ウ はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。
読むこと		ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。 イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。	ア 日常的话题について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。 イ 日常的话题について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。 ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。
話すこと [やり取り]	ア 基本的な表現を用いて挨拶、感謝、簡単な指示をしたり、それらに応じたりするようにする。 イ 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。 ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。	ア 基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができるようにする。 イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。 ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。 イ 日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。
話すこと [発表]	ア 身の回りの物について、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。 イ 自分のことについて、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。 ウ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前で実物などを見せながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。	ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。 イ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。 ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。 イ 日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。
書くこと		ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。 イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。 イ 日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。

「外国語の言語材料」の学校段階別一覧表

小学校第5学年及び第6学年 外国語		中学校 外国語
音声	次を示す事項のうち基本的な語や句、文について取り扱うこと。 (ア) 現代の標準的な発音 (イ) 語と語の連結による音の変化 (ウ) 語や句、文における基本的な強勢 (エ) 文における基本的なイントネーション (オ) 文における基本的な区切り	次を示す事項について取り扱うこと。 (ア) 現代の標準的な発音 (イ) 語と語の連結による音の変化 (ウ) 語や句、文における基本的な強勢 (エ) 文における基本的なイントネーション (オ) 文における基本的な区切り
文字及び符号 ／符号	(ア) 活字体の大文字、小文字 (イ) 終止符や疑問符、コンマなどの基本的な符号	感嘆符、引用符などの符号
語、連語及び 慣用表現	(ア) 1に示す五つの領域別の目標を達成するために必要となる、第3学年及び第4学年において第4章外国語活動を実施する際に取り扱った語を含む600～700語程度の語 (イ) 連語のうち、get up, look at などの活用頻度の高い基本的なもの (ウ) 慣用表現のうち、excuse me, I see, I'm sorry, thank you, you're welcome などの活用頻度の高い基本的なもの	(ア) 1に示す五つの領域別の目標を達成するために必要となる、小学校で学習した語に1600～1800語程度の新語を加えた語 (イ) 連語のうち、活用頻度の高いもの (ウ) 慣用表現のうち、活用頻度の高いもの
文及び 文構造／ 文 文構造 及び 文法事項	次を示す事項について、日本語と英語の語順の違い等気付かせるとともに、基本的な表現として、意味のある文脈でのコミュニケーションの中で繰り返し触れることを通して活用すること。	小学校学習指導要領第2章第10節外国語第2の2の(1)のエ及び次を示す事項について、意味のある文脈でのコミュニケーションの中で繰り返し触れることを通して活用すること。
	文 a 単文 b 肯定 否定の平叙文 c 肯定 否定の命令文 d 疑問文のうち、be 動詞で始まるものや助動詞 (can, do など) で始まるもの、疑問詞 (who, what, when, where, why, how) で始まるもの e 代名詞のうち、I, you, he, she などの基本的なものを含むもの f 動名詞や過去形のうち、活用頻度の高い基本的なものを含むもの	a 重文、複文 b 疑問文のうち、助動詞 (may, will など) で始まるものや or を含むもの、疑問詞 (which, whose) で始まるもの c 感嘆文のうち基本的なもの
	文 構造 a [主語+動詞] b [主語+動詞+補語] のうち、 主語+ be 動詞+名詞／代名詞／形容詞 c [主語+動詞+目的語] のうち、 主語+動詞+名詞／代名詞	a [主語+動詞+補語] のうち、 主語+ be 動詞以外の動詞+名詞／形容詞 b [主語+動詞+目的語] のうち、 (a) 主語+動詞+動名詞／to 不定詞／how (など) to 不定詞 (b) 主語+動詞+ that で始まる節／what などで始まる節 c [主語+動詞+間接目的語+直接目的語] のうち、 (a) 主語+動詞+間接目的語+名詞／代名詞 (b) 主語+動詞+間接目的語+ how (など) to 不定詞 (c) 主語+動詞+間接目的語+ that で始まる節／what などで始まる節 d [主語+動詞+目的語+補語] のうち、 (a) 主語+動詞+目的語+名詞／形容詞 (b) 主語+動詞+目的語+原形不定詞 e その他 (a) There + be 動詞+～ (b) It + be 動詞+～ (+ for～) + to 不定詞 (c) 主語+ tell, want など+目的語+ to 不定詞 (d) 主語+ be 動詞+形容詞+ that で始まる節
	文 法 事項	a 代名詞 (a) 人称や指示、疑問、数量を表すもの (b) 関係代名詞のうち、主格の that, which, who, 目的格の that, which の制限用法 b 接續詞 c 助動詞 d 前置詞 e 動詞の形補及び辞など 現在形・過去形、現在進行形、過去進行形、現在完了形、 現在完了進行形、助動詞などを用いた未来表現 f 形容詞や副詞を用いた比較表現 g to 不定詞 h 動名詞 i 現在分詞や過去分詞の形容詞としての用法 j 受け身 k 仮定法のうち基本的なもの

(参考) 小学校第3学年及び第4学年 外国語活動

(1) 英語の特徴等に関する事項 実際に英語を用いた言語活動を通して、次の事項を体系的に身に付けることができるよう指導する。 ア 言語を用いて主体的にコミュニケーションを図ることの楽しさや大切さを知ること。 イ 日本と外国の言語や文化について理解すること。 (ア) 英語の音声やリズムなどに慣れ親しむとともに、日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさに気付くこと。 (イ) 日本と外国との生活や習慣、行事などの違いを知り、多様な考え方があることに気付くこと。 (ウ) 異なる文化をもつ人々との交流などを体験し、文化等に対する理解を深めること。

「外国語活動・外国語の言語活動の例」の学校段階別一覧表

	小学校第3学年及び第4学年 外国語活動	小学校第5学年及び第6学年 外国語	中学校 外国語
聞くこと	(ア) 身近で簡単な事柄に関する短い話を聞いて、おおよその内容が分かったりする活動。	(ア) 自分のことや学校生活など、身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞いて、それらを表すイラストや写真などと結び付ける活動。	(ア) 日常的な話題について、自然な口調で話される英語を聞いて、話し手の意向を正確に把握する活動。
	(イ) 身近な人や身の回りの物に関する簡単な語句や基本的な表現を聞いて、それらを表すイラストや写真などと結び付ける活動。	(イ) 日付や時刻、値段などを表す表現など、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取る活動。	(イ) 店や公共交通機関などで用いられる簡単なアナウンスなどから、自分が必要とする情報を聞き取る活動。
	(ウ) 文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字体で書かれた文字と結び付ける活動。	(ウ) 友達や家族、学校生活など、身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現で話される短い会話や説明を、イラストや写真などを参考にしながら聞いて、必要な情報を得る活動。	(ウ) 友達からの招待など、身近な事柄に関する簡単なメッセージを聞いて、その内容を把握し、適切に応答する活動。
			(エ) 友達や家族、学校生活などの日常的な話題や社会的な話題に関する会話や説明などを聞いて、概要や要点を把握する活動。また、その内容を英語で説明する活動。
読むこと		(ア) 活字体で書かれた文字を見て、どの文字であるかやその文字が大文字であるか小文字であるかを識別する活動。	(ア) 書かれた内容や文章の構成を考えながら黙読したり、その内容を表現するよう音読したりする活動。
		(イ) 活字体で書かれた文字を見て、その読み方を適切に発音する活動。	(イ) 日常的な話題について、簡単な表現が用いられている広告やパンフレット、予定表、手紙、電子メール、短い文章などから、自分が必要とする情報を読み取る活動。
		(ウ) 日常生活に関する身近で簡単な事柄を内容とする掲示やパンフレットなどから、自分が必要とする情報を得る活動。	(ウ) 簡単な語句や文で書かれた日常的な話題に関する短い説明やエッセイ、物語などを読んで概要を把握する活動。
		(エ) 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、絵本などの中から識別する活動。	(エ) 簡単な語句や文で書かれた社会的な話題に関する説明などを読んで、イラストや写真、図表なども参考にしながら、要点を把握する活動。また、その内容に対する賛否や自分の考えを述べる活動。
話すこと [やり取り]	(ア) 知り合いと簡単な挨拶を交わしたり、感謝や簡単な指示、依頼をして、それらに応じたりする活動。	(ア) 初対面の人や知り合いと挨拶を交わしたり、相手に指示や依頼をして、それらに応じたり断ったりする活動。	(ア) 関心のある事柄について、相手からの質問に対し、その場で適切に応答したり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続する活動。
	(イ) 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、好みや要求などの自分の気持ちや考えなどを伝え合う活動。	(イ) 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを伝えたり、簡単な質問をしたり質問に答えたりして伝え合う活動。	(イ) 日常的な話題について、伝えようとする内容を整理し、自分で作成したメモなどを活用しながら相手と口頭で伝え合う活動。
	(ウ) 自分や相手の好み及び欲しい物などについて、簡単な質問をしたり質問に答えたりする活動。	(ウ) 自分に関する簡単な質問に対してその場で答えたり、相手に関する簡単な質問をその場でしたりして、短い会話をする活動。	(ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、読み取ったことや感じたこと、考えたことなどを伝えたり、相手からの質問に対して適切に回答したり自ら質問し返したりする活動。
話すこと [発表]	(ア) 身の回りの物の数や形状などについて、人前で実物やイラスト、写真などを見せながら話す活動。	(ア) 時刻や日時、場所など、日常生活に関する身近で簡単な事柄を話す活動。	(ア) 関心のある事柄について、その場で考えを整理して口頭で説明する活動。
	(イ) 自分の好き嫌い、欲しい物などについて、人前で実物やイラスト、写真などを見せながら話す活動。	(イ) 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の趣味や得意なことなどを含めた自己紹介をする活動。	(イ) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、簡単なスピーチをする活動。
	(ウ) 時刻や曜日、場所など、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前で実物やイラスト、写真などを見せながら、自分の考えや気持ちなどを話す活動。	(ウ) 簡単な語句や基本的な表現を用いて、学校生活や地域に関することなど、身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを話す活動。	(ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分で作成したメモなどを活用しながら口頭で要約したり、自分の考えや気持ちなどを話したりする活動。
書くこと		(ア) 文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字体の大文字、小文字を書く活動。	(ア) 趣味や好き嫌いなど、自分に関する基本的な情報を語句や文で書く活動。
		(イ) 相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を書き写す活動。	(イ) 簡単な手紙や電子メールの形で自分の近況などを伝える活動。
		(ウ) 相手に伝えるなどの目的をもって、語と語の区切りに注意して、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ基本的な表現を書き写す活動。	(ウ) 日常的な話題について、簡単な語句や文を用いて、出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動。
		(エ) 相手に伝えるなどの目的をもって、名前や年齢、趣味、好き嫌いなど、自分に関する簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例の中から言葉を選んで書く活動。	(エ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分の考えや気持ち、その理由などを書く活動。